2022 年 3 月 2 日

「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対する抗体測定系の開発」
に参加いただいた方の血液検体の二次利用について

研究課題：抗スパイク抗体を指標とした新型コロナウイルスワクチンの効果とその持続期間の検討」

１．研究の対象

新型コロナウイルス感染症に罹患され、2020 年 3 月 1 日以降に当センターにて治療を受けられた方で、「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対する抗体測定系の開発」に参加いただいた方

２．研究目的・方法

「目的」：「抗スパイク抗体を指標とした新型コロナワクチンの効果とその持続期間の検討」の研究における、ワクチンによって作られた抗スパイク抗体と新型コロナウイルス感染症によって作られた抗スパイク抗体を比較するために使わせていただきます。

「方法」：アボット社の方法により新型コロナウイルスの抗スパイク抗体を測定します

「研究期間」2021 年 5 月 12 日～2023 年 3 月 31 日

３．研究に用いる試料・情報の種類

試料：血清（表記の研究のためにすでにいただき保存しているもの）

情報：性別、年齢、既往歴、合併症、肺炎の発症から治癒に至る経過、咽頭ぬぐい液の PCR 検査結果

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56
大阪急性期・総合医療センター精神科
研究責任者：　精神科部長　松永秀典
電話　06-6692-1201　内線　2255